SUPPORT SERVICE ガラス製造で培ってきた品質と量産のノウハウで、量産部品の製造を東工業が全力サポート

製造請負サービス

量産部品の組立・検査・出荷は、おまかせください!

ISO 認証工場 **24**時間 生産にも 対応

組立業務

- ガラス、ゴム、樹脂等の 部品の組立
- ライン生産が得意。
- 条件次第でセル生産も可。

検査業務

- ノギス、マイクロメーター等を 使った寸法検査
- 目視による外観調査

梱包・出荷業務

- 小箱やダンボールへの梱包 (キズ対策をしながら)
- 割れ物にも対応してきた 丁寧な製品保管・出荷

HISTORY

1955 東京都品川区東大崎1丁目において創業 1990 生産合理化のため秋田工場を閉鎖し、妻沼工場に集約 電球用ガラスバルブの生産を開始 1992 電球型蛍光灯グローブ用カットマシンを設置 東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-16に工場を移転(現本社) 電球型蛍光灯グローブ用コーティングラインを設置 1958 1964 秋田市に秋田工場を新設 1993 エンドフォーミングをオンライン化、 チューブブローイングマシンによる ガラス管の生産から加工までの一連生産を開始 クリスマス用電球ガラスの生産を開始 1998 ガラス用4色自動スクリーン印刷機を設置 埼玉県大里郡妻沼町に同町の誘致工場として妻沼工場を新設 1970 1999 環境基準の国際規格「ISO14001」の認証取得 1号タンク炉にブローイングマシンを取りつけ、 電球ガラス用アルミ蒸着・ピクリングラインを設置 各種中型電球用ガラスバルブの量産体制を確立 2000 排出ガス(Nox、Sox、CO2等)の大幅削減と 1972 妻沼工場に第2工場を新築、2号タンク炉を新設 エネルギー効率の向上を目論み、 2号タンク炉に大型ブローイングマシンを設置し、 Bタンク炉を環境対応の酸素燃焼方式に転換 電球用硬質ガラスバルブを量産化 2002 埼玉県より彩の国工場に指定 自動製びん機1基を導入、硬質ほ乳びん・薬びんの生産を開始 1978 2005 品質基準の国際規格「ISO9001」の認証取得 1979 管引機1台を設置し、ガラス管の生産を開始 排出ガス(Nox、Sox、CO2等)の大幅削減と 2010 印刷機設置、生産から印刷までの一貫生産を開始 1980 エネルギー効率の向上を目論み、 ほ乳びんの製造工場としてJIS規格を取得 ガラス溶解及び加工用燃料を、重油、LPGから都市ガスに転換 エンドフォーミング・マシンを設置し、 1981 2010 自動製びん機を更新、硬質ほ乳びん・薬びんの生産能力を強化 ガラス管の生産から加工までの一貫生産を開始 管引機1台を増設、ガラス管の生産能力を強化 2017 バンドミラー電球ガラス用アルミ蒸着ラインを設置 大型ブローイングマシンにより魔法瓶用ガラスの量産を開始 1984 プレス・マシンを設置し、ボイラー水面計の生産を開始 2021



東工業株式会社 (Azuma Kogyo Co., Ltd.)

https://www.azuma-glass.com/

立 昭和30年8月31日

資 本 金 3200万円

代表者 代表取締役社長福澤慶明

営業種目 硬質、軟質の各種電球用ガラスパルブ・ガラス管の製造販売 硬質ガラスの各種瓶、並びにガラス製品の着色、印刷、蒸着加工



[本社]

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-16 TEL 03-3377-0311(代表) FAX 03-3377-0316 mail:honsha@azuma-glass.com

[妻沼事業所]

〒360-0235 埼玉県熊谷市原井260 TEL 048-588-1177(代表) FAX 048-588-1716 mail:jigyousho@azuma-glass.com





関東から

便利な立地

難しい検査にも

現場の工夫で対応





硬質ガラス製品

硬質ガラスびんや魔法びん、ボイラー水面計ガラスなど 硬質ガラス製品を成形

耐熱性に優れ、衛生的、傷に強いなど多くの特徴を持つ硬質ガラス。

一方で加工が難しく、安定的な生産を行うには、その性質に合わせたインフラやノウ ハウが必要です。当社では、そんな硬質ガラスの量産化を実現しています。

今後は、食品、化粧品、医療分野など、お客様のニーズにお応えしながら、ニッチトップ を目指しています。





設備	ホウケイ酸ガラスの溶解炉(B炉) … 1基自動製瓶機
扱っている 加工	【成形】 プレスアンドブロー/ブローアンドブロー/ プレス/ブロー 【印刷】 シルク印刷

ガラス特性	BD-2	BD-A	BT-3
熱膨張係数(℃ cm)	45×10 ⁻⁷	55×10 ⁻⁷	38×10 ⁻⁷
密度(g/cm3)	2.31	2.36	2.26
軟化点(℃)	770	755	765
歪点(℃)	510	520	483
徐冷点(℃)	555	560	530



軟質ガラス製品



電球用ガラスバルブ、蛍光灯用ガラス管など 主に屋内照明用ガラス製品を成形

どんなシチュエーションでも明るく、そして安全に照らし続けられるよう、 熱膨張時でもソケットにつねにフィットするようなガラスを開発しました。 また、ガラス管は機械の一部としても使用されています。

創業以来培ってきた技術とノウハウを活かし、材質選びから成形、量産ま でワンストップでのご提供が可能です。

社会生活を支える製品に携われることはわたしたちの大きな誇りです。













赤外線











庫内球

蛍光管 ブローイング管 錠剤管

	■ ソーダガラスの溶解炉(A炉) 1基
設備	■ ブロー成形機 4台
	■ ダンナー成形機 2台

扱っている 加工

[成形] ブロー/ダンナー/チューブブロー

[管端加工]

グレージング / ネックフォーム

[蒸着] 真空蒸着

	ガラス特性	SK-C	
	熱膨張係数(℃ cm)	99×10 ⁻⁷	
-	密度(g/cm³)	2.48	
	軟化点(℃)	693	
	歪点(℃)	480	
	徐冷点(℃)	520	